

# 謹賀新年



## 復興から発展へ、新たな須賀川の礎を築きます

須賀川市長 橋本克也

明けましておめでとうございます。平成29年の新春に当たり、謹んでお慶び申し上げます。市民の皆様には、日頃から市政進展のため、温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から間もなく6年となりますが、これまで震災からの復旧・復興に全力で取り組み、去る11月には、被災された皆様のご理解を得ながら事業を進めてきた藤沼ダムの堤体が完成し、試験湛水を経て4月末には受益者の皆様が待ち望んだ農業用水が供給される見込みとなりました。

また、3月末には市民サービスの拠点であり、復興のシンボルでもある市役所新庁舎が完成し、5月8日の業務開始に向けて準備を進め、市民の皆様により質の高いサービスが提供できるよう努めてまいります。4月初旬には公立岩瀬病院に産科婦人科診療棟が開院しますので、長年の課題であった「安心して産み育てる環境づくり」に大きな役割を担っていただけるものと期待しております。

新たな文化交流と市民活動の拠点となる市民交流センターの愛称が「tette」(てつて)に決まり、皆様に愛されご利用いただけるよう、平成30年のオープンを目指して建設を進めてまいります。先人が築いた貴重な文化遺産や偉業を後世に引き

継いでいくため、地域の宝を発掘し、本市が生んだ円谷英二特撮監督と円谷幸吉選手、この「二人の円谷」の足跡と偉業を多くの皆様に知ってもらおうとともに、ウルトラヒーローのイメージアップ戦略を引き続き推進し、その力を借りて須賀川の元気と魅力を全国に発信してまいります。

今、全国的に人口減少や少子高齢化が大きな問題となっておりますが、本市も同様で将来の人口動態の変化が市の経済活動や行政サービス・財政に大きな影響を及ぼすこととなります。これらの影響を最小限にするため、人口減少社会に対応することを目的に策定した「須賀川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進体制を更に強化してまいります。

新年度は須賀川市第7次総合計画の最終年度で、震災からの「復興期」から「発展期」へ移行する年となります。市民の皆様との協働のもと、これまで以上に住む人、働く人、育てる人、訪れる人、企業に、「選ばれるまち須賀川市」の実現に取り組みとともに、新たな須賀川の礎を築くため、市民の皆様とともに「ふるさと須賀川」の希望に満ちたまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、引き続き、市政に対するご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

今年一年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。



## 市民と共に元気な須賀川市を目指して

須賀川市議会議長 広瀬吉彦

新年おめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、市政の進展並びに市議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年、東日本大震災から早6年を迎える年となります。

これまで、避難所開設から始まり、被災者への物資の供給、生活支援、道路や小中学校をはじめとした公共施設の復旧などが順次進められ、また、災害公営住宅の完成により、生活再建に向けた施策が進展し、復旧そして復興期を経て、ようやくその成果が目に見える状況にまで進んできた実感しております。

一方で市議会においては、震災により市庁舎が使用不能となったため、震災直後の早い段階から現在の岩瀬市民サービスセンターへ拠点を移し、議会活動を停滞させることなく、市民の皆様の声に耳を傾け、市執行部と意見を交わしながら、議員一同「震災復興」に向け取り組んでまいりました。

しかしながら、市議会と執行部である市が離れ離れの庁舎となったため、今もなお大変非効率な議会運営を余儀なくされております。

こうした中で、本年3月末には、復興のシンボルである市役所新庁舎がいよいよ完成いたします。市議会も新年度の早い段階で拠点を移す運びであり、市議会と執行部が一体感のある効率的な運営が可能になると期待しているところであります。

議会と執行部は「車の両輪」に例えられます。この例えには様々な解釈がありますが、いずれにしても両輪がかみ合わなければ、うまく前に進むことはできません。

議会も執行部も、互いに目指すべき方向は「市民の幸せ」であり、議会は執行部のチェック機能であるため、常に緊張感を持ったパートナーシップ関係が必要であると認識しております。

このため、市議会といたしましては、市民の皆様の負託をしっかりと受け止め、良いものは良い、悪いものは悪いといった議論を徹底的に重ね、市民の思いを推進・実践する政策提言を行い、元気な須賀川を目指してまいります。

皆様のこれまで以上のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、須賀川市の限らない繁栄と市民の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。